

### 3. 門司麦酒煉瓦館の現況

#### (1) 利用者及び収支状況

館の利用者数は、平成30年度33,467人をピークに減少しており、令和3年度は6,716人となっています。

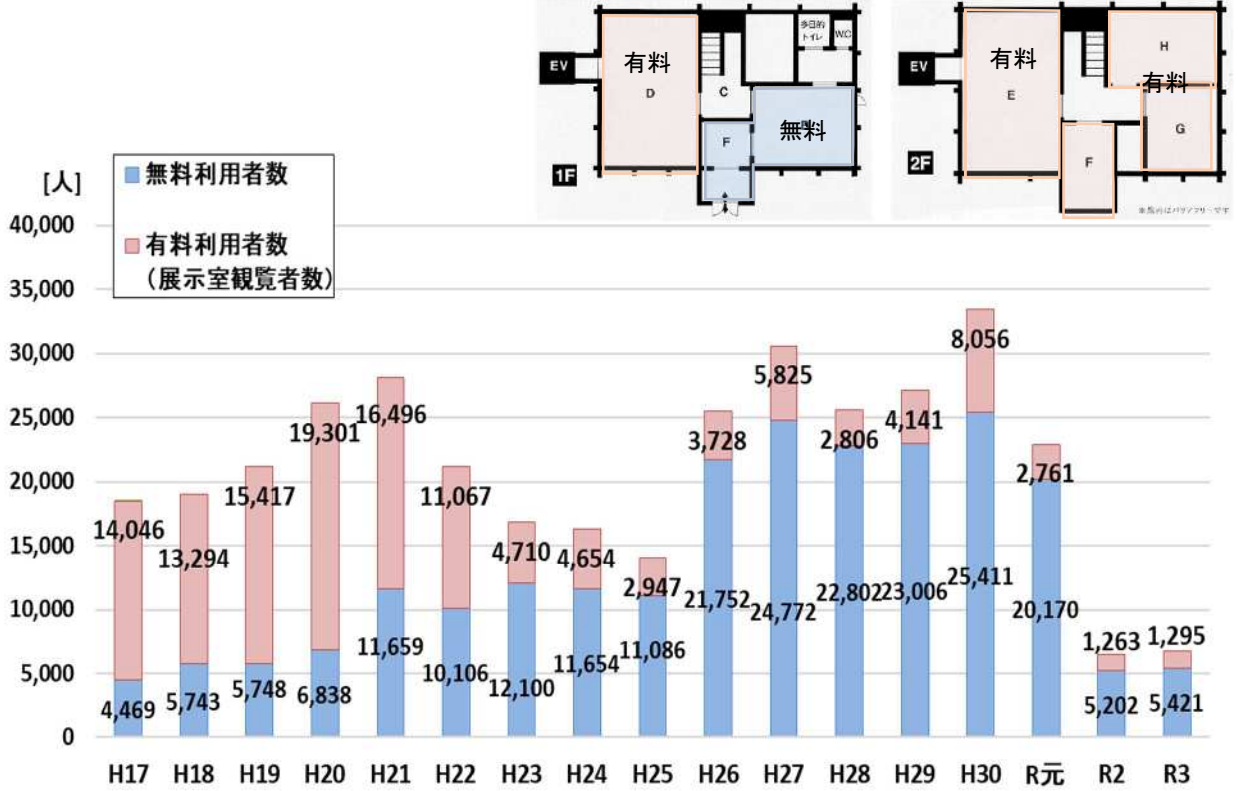


図 16 門司麦酒煉瓦館利用者数

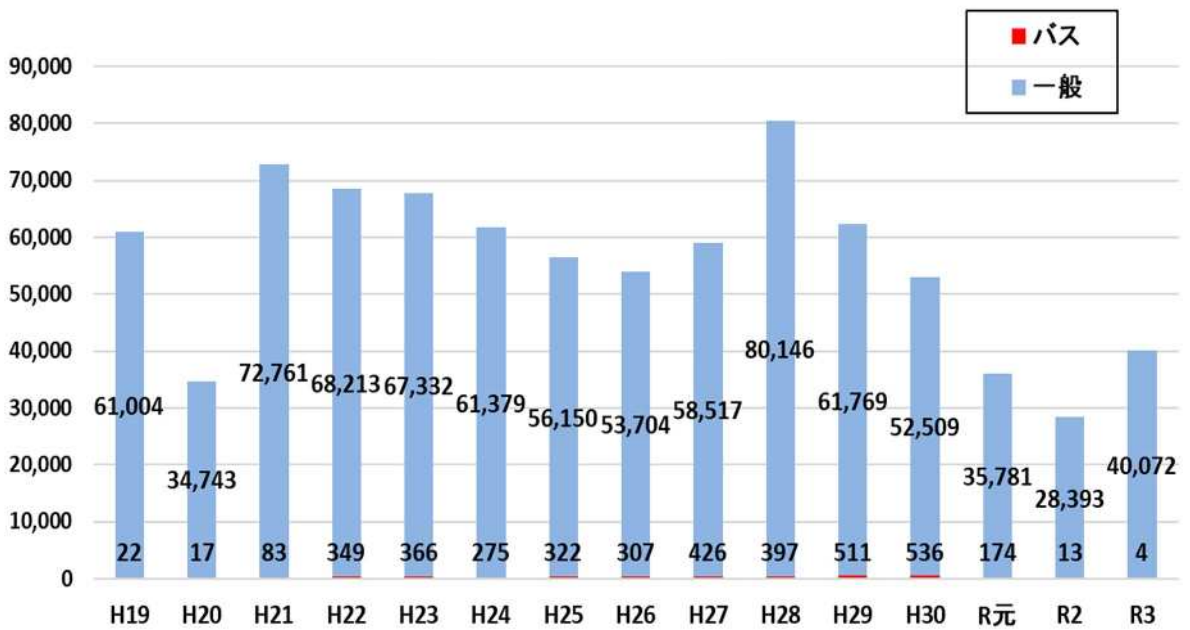


図 17 駐車場利用台数

## (2) 施設の現状

麦酒煉瓦館は、竣工1913年の建物です。屋根飾りのひび割れや破損、壁面のひび割れが見られ、現在は安全対策として外壁ネットや防護用の庇、バリケード設置を行い、運営しているところです。



### 麦酒煉瓦館 市の補修歴

- R1.7 出入口仮設安全庇設置工事
- R1.10 外壁剥落防止ネット設置工事（北面）
- R1.12 外壁落下防止ネット設置工事（東面・西面）
- R2.11 外壁（南面）防水工事
- R3.9 西側出入口仮設安全庇設置工事

### (3) 展示物の現状

麦酒煉瓦館は、麦酒工場発展の歴史や大正時代から今日までの麦酒文化と生活の関わりを体験できる展示を行い、観光施設として広く集客することを目的のひとつとして、設置されました。

#### 1F エントランス



##### ・麦酒 浪漫年表

展示の背景が分かるように、江戸期から平成期まで、北九州地域における歴史を中心に、「生活史」と「麦酒史」に分けて年表で紹介



麦酒 浪漫年表

#### 1F 大正浪漫の部屋



##### ・門司麦酒工場史く大正・昭和／戦前>

大正期・昭和 戦前の北九州地域を中心としたヒストリーを、サクラビールとの関わりを切り口にして再構築、商品を中心に世相や風俗もあわせてビジュアル的に展示



4

#### 1F 大正浪漫の部屋



##### ・麦酒 浪漫スコープ

「サクラビール浪漫」「サッポロビール浪漫」2つの物語で「門司麦酒煉瓦館」の建物が見てきた歴史のダイジェストにふれることができ、来館者の興味と好奇心を呼び覚まします。



ポストカードを展示販売

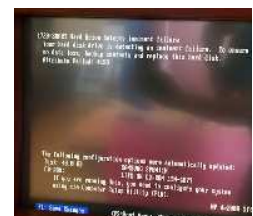
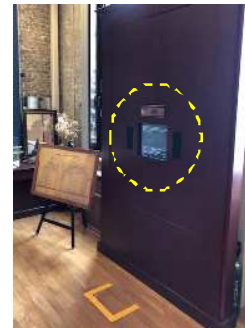
2

#### 1F 大正浪漫の部屋



##### ・ビール広告検索

新聞等に掲載されたサクラビールの広告を検索



5

#### 1F 大正浪漫の部屋



##### ・大正 期サクラビールショーウィンドウ

現存写真をもとに当時のショーウィンドウディスプレイを再現



3

#### 1F 大正浪漫の部屋



##### ・工場復元模型、製造・出荷プロセス

現存する工場図面と彩色サクラビール工場絵図より、門司(大里)華やかなりしころの大正期の工場および船場までの全景を図面の上に復元模型化



工場内での生産工程から、鉄道や船での出荷風景までを映像で紹介

6

## 1F 大正浪漫の部屋



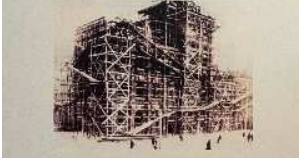
### ・工場建設プロセス



門司ビール工場ができるまでを紹介



#### 工場建設プロセス



明治15年・赤煉瓦のビール醸造場の雄姿  
明治15年4月に「サクラビール」の醸造場建設が始まります。足場が組まれ、煉瓦敷、ファンネル、アーチの基礎など、雄偉なるネオバザン様式の外観が大抵の骨格に次第に変えられていきました。

7

## 2F 昭和・平成浪漫の部屋



### ・生活とビール<昭和/戦後・平成>

昭和/戦後・平成期の北九州地域を中心とした歴史を、生活とサッポロビールとの関わりを切り口にして当時の新聞記事等によって再構築し、サッポロビールの発展や商品の多様化をはじめ、世相や風俗の変遷をビジュアル的に紹介。代表的商品をはじめ、時代を反映した限定ビールも紹介。



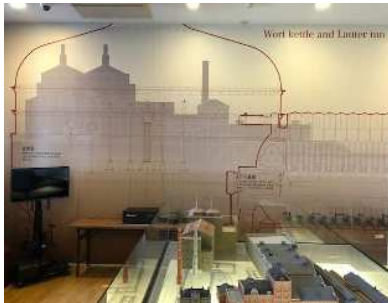
10

## 1F 大正浪漫の部屋



### ・煮沸釜設計図

当時使われていた煮沸釜を中心とした設備、設計図を印象的に展示。



8

## 2F 昭和・平成浪漫の部屋



### ・日本のビール事始め

オランダ人によってビールが日本に初めて伝えられてから、昭和/戦中に至るビール産業の発展と変遷をパネルで紹介



大日本麦酒設立  
20周年記念ゴブレット

11

## 1F 大正浪漫の部屋



### ・輸出ビールラベルステージ

大正・昭和初期、アジアを中心に世界各地に輸出されていたサクラビール。マップ上にラベルを貼り、当時の輸出先を明示。併せてラベルのレプリカを展示。



9

## 2F 昭和・平成浪漫の部屋



### ・ポスター展示

サッポロビールのポスターを展示。



12

## 2F 浪漫展望室



### ・建築浪漫探偵局

建築の特徴やレンガの製作方法、北九州市に於ける他の煉瓦建築などパネルで紹介。また、モニターではこの工場の解体工程記録を紹介。



13

## 2F 交流サロン



### ・ビール文庫、ビールジョッキコーナー

ビールに関する様々な書籍を自由に閲覧できるように展示。併せて、様々なビールジョッキを紹介。



16

## 2F 浪漫展望室



### ・スウィングベルオブジェ

五稜郭をイメージしたオブジェ。



14

## 2F ビール製造とリサイクルの部屋



### ・原料・樽・缶・瓶の展示

ビール原料の実物展示の他、ビール容器（樽、缶、瓶）について原料や製造工程、その特徴などをパネルと実物で紹介。



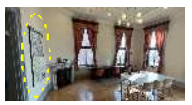
17

## 2F 交流サロン



### ・ビールの歴史

ビールの起源について紹介。世界最古といわれるメソポタミア文明のビールにまつわる話などで構成。



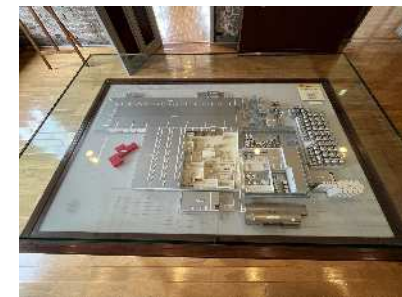
15

## 2F ビール製造とリサイクルの部屋



### ・ビール製造の最新技術

現在のサッポロビール九州工場の最新ラインを例に模型で紹介



18

#### 4. 麦酒煉瓦館以外のプレース内建物

##### (1) 赤煉瓦交流館（倉庫棟）【国登録文化財、近代化産業遺産、日本遺産】

NPO 法人の所有建物で、現在は貸しスペース等として利用されています。



##### 赤煉瓦交流館の概要

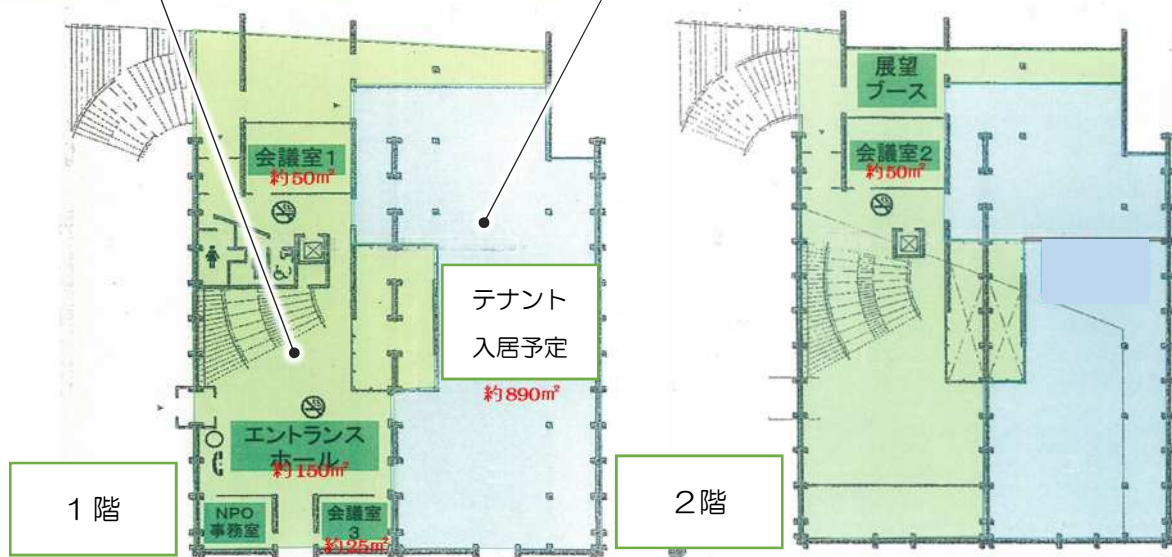
所在地 : 大里本町3丁目6-1  
 所有者 : NPO法人門司赤煉瓦倶楽部  
 建築年度 : 1913年(築105年)  
 延べ面積 : 1,542.24㎡〔登記面積〕  
 主な構造 : 鉄筋コンクリート造  
 耐震診断 : 実施済  
 耐震補強 : 実施済



イベントホール



テナント入居予定



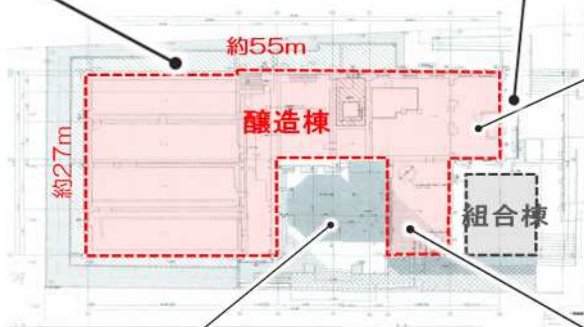
**(2) 旧サッポロビール醸造棟【国登録文化財、近代化産業遺産、日本遺産】**

NPO法人の所有建物で、現在は一部を飲食施設として活用しているほか、写真撮影等に使われています。



**醸造棟の概要**

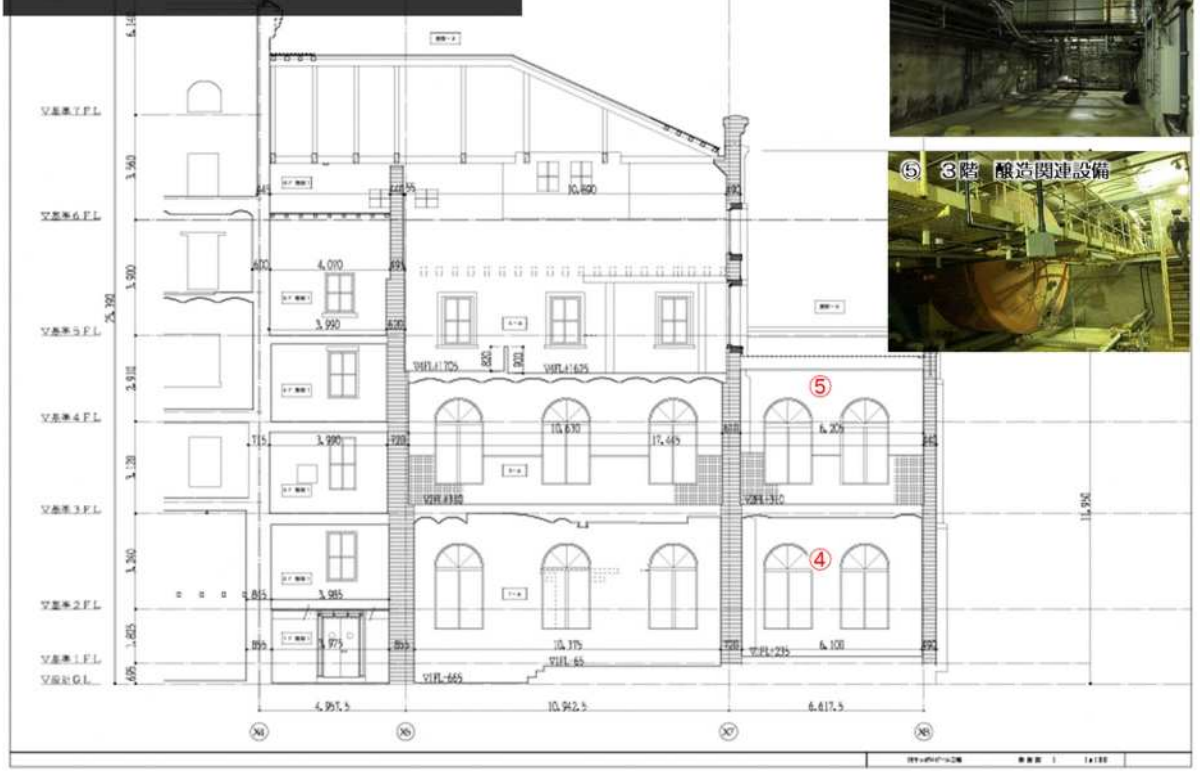
所在地 : 大里本町3丁目6-1  
 所有者 : NPO法人門司赤煉瓦倶楽部  
 建築年度 : 1913年(築105年)  
 延べ面積 : 3,029.33㎡  
 登記面積 : 1階471[㎡]、2階471[㎡]、3階310[㎡]  
 : 4階310[㎡]、5階168[㎡]、6階113[㎡]  
 主な構造 : 煉瓦造  
 耐震診断 : 未実施  
 耐震補強 : 未実施



### ③釀造棟 立面図 北側



### ③釀造棟 立面図 南側





### (3) 赤煉瓦物産館 (組合棟)

NPO 法人の所有建物で、現在は写真スタジオとして利用されています。

#### ④ 赤煉瓦物産館 (組合棟)

【国登録文化財、日本遺産】

##### 組合棟の概要

所在地 : 大里本町3丁目6-1  
所有者 : NPO法人門司赤煉瓦倶楽部  
建築年度 : 1917年(築101年)  
延べ面積 : 172.14㎡〔登記面積〕  
主な構造 : 煉瓦造  
耐震診断 : 未実施  
耐震補強 : 未実施

